

| 研究集会の計画（本研究プロジェクト主催のシンポジウム・研究プラットフォーム等） | | |
|---|---|--------|
| 開催年月 | 内 容 | 公開・非公開 |
| 20XX年 X月 | シンポジウム「●●●●●●●●●●」開催（詳細未定） | 公開 |
| 20XX年 X月 | ●●●●を訪問し、研究セミナーを実施（予定） | 非公開 |
| 20XX年 X月 | 大学、●●●メーカー、○○メーカー、△△メーカーなどが結集し、●●●の研究開発ならびに普及促進を行う●●●コンソーシアム（研究代表者が●●●を務める）による講演会・セミナーを実施（予定） | 非公開 |
| 20XX年 X月 | ●●●●国際会議出席（オンライン予定） | 非公開 |
| 20XX年 X月 予定 | シンポジウム「●●●●●●●●●●」 ※研究成果の発表を●●●●で開催（社会情勢により中止の可能性あり） | 未定 |

| 研究成果（予定）／研究成果（実績） | | |
|-------------------|---|-----|
| 年月 （発行・発表） | 学術論文，学会発表，Working Paper，出版物等の計画等 | 備 考 |
| 20XX年 X月 | 研究代表者（●●●）による●●●大会（●●●）での招待講演 （COVID-19の影響により中止、予稿集の公開あり、発表実績認定） | |
| 20XX年 X月 | ●●●「●●●●●●●●●●」の事後評価公開（関連新聞記事●●●件） | |
| 20XX年 X月 | 大学院生による学会発表（●●●20XX（サンフランシスコ） ●●●件（ウェブ会議） | |
| 20XX年 X月 | 研究代表者（●●●）による●●●20XX（リスボン）での基調講演 （COVID-19の影響により20XX年へ延期） | |
| 20XX年 X月 | 研究代表者（●●●）による●●●に関する学術論文投稿 | |

| 他機関との交流・連携（機関名・交流・連携の内容）・その他 |
|--|
| ●●●氏の主宰する●●●●●と連携してプログラムを行うとともに、サンフランシスコの●●●●●や●●●機関と共同でセミナーを実施するほか、年1回の国際会議をはじめ、定期的に情報交換を行っている。 |

| 備考（研究スペース・設備・装置等の希望がある場合には記入してください） |
|-------------------------------------|
| |

※ 欄が足りない場合は、増やして記入してください。

研究プロジェクトメンバー一覧

| フリガナ 氏名 | 所属・職名 | プロジェクト/ 研究課題におけるテーマ・役割 | 備考 (職位付与他) |
|-------------------|--------|---------------------------|---------------|
| ケイオウ タロウ 慶應 太郎 | ●●学部教授 | 研究代表者、研究活動統括 | 上席所員 |
| | | 別紙：補足説明あり | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

※ 職位付与を希望する場合は、希望する職位を「備考」欄に記入のうえ、「所員受入申請書」を提出してください。

※ 記入欄が不足している場合には、本紙をコピーし、2枚目以降にご記入ください。

持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs) への取り組み

17 の SDGs のうち、各プロジェクトがどの目標に合致した活動をしているかを Web サイトにアイコンで表示いたします。参考サイトをご覧ください、目標の右の取り組み欄に●印を入力してください。複数選択可能です。参考サイト⇒ <http://ungcin.org/sdgs/index.html>

| 目標 | 取り組み |
|-------------------------|------|
| 目標 1 貧困をなくそう | |
| 目標 2 飢餓をゼロに | |
| 目標 3 すべての人々に保健と福祉を | |
| 目標 4 質の高い教育をみんなに | ● |
| 目標 5 ジェンダー平等を実現しよう | |
| 目標 6 安全な水とトイレを世界中に | |
| 目標 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | ● |
| 目標 8 働きがいも経済成長も | ● |
| 目標 9 産業と技術革新の基盤をつくろう | ● |
| 目標10 人や国の不平等をなくそう | |
| 目標11 住み続けられるまちづくりを | ● |
| 目標12 つくる責任つかう責任 | |
| 目標13 気候変動に具体的な対策を | |
| 目標14 海の豊かさを守ろう | |
| 目標15 陸の豊かさも守ろう | |
| 目標16 平和と公正をすべての人に | |
| 目標17 パートナーシップで目標を達成しよう | |

202X 年度 KGRI 研究活動評価基準

1. 内部資金にかかるプロジェクト (基軸プロジェクトなど)

| 評価項目 | 評価内容 |
|---------------------------------------|---|
| Keio spirits | 慶應義塾の理念・精神に合致する研究活動であるか。 |
| Global and multidisciplinary approach | 世界に開かれたグローバルな研究活動であり、かつ学際的アプローチが採られているか。 |
| Research outcome | 以下の4項目にかかる明確なアウトカム目標があるか、そのアウトカム目標を十分に達成したか。 1) <i>KGRI mission</i> への貢献 <ul style="list-style-type: none"> －持続可能な開発目標 (国連 SDGs) に対する取り組み －次代を担う研究者の育成 2) <i>KGRI reputation</i> への貢献 <ul style="list-style-type: none"> －プレスリリースや国際会議開催、新たな人間交流 3) <i>KGRI publication</i> への貢献 <ul style="list-style-type: none"> －国際的文献データベース※に収載される文献 4) <i>KGRI globalization</i> への貢献 <ul style="list-style-type: none"> －国際共同研究や外国人研究者・学生の参画 |
| Initiatives | 先導性のある研究活動であるか。 |

※Elsevier 社 Scopus など

2. 外部資金にかかるプロジェクト (共同研究・受託研究など)

| 評価項目 | 評価内容 |
|---------------------------------------|--|
| Keio spirits | 慶應義塾の理念・精神に合致する研究活動であるか。 |
| Global and multidisciplinary approach | 世界に開かれたグローバルな研究活動であり、かつ学際的アプローチが採られているか。 |
| Research outcome | 研究活動に明確なアウトカム目標があるか、そのアウトカム目標を十分に達成したか。 |
| Initiatives | 先導性のある研究活動であるか。 |

3. 付帯事項 (内部資金・外部資金共通)

所長が必要と認めた場合は有識者による外部審査を実施する。

研究プロジェクトメンバー一覧 (抜粋記入例)

| フリガナ氏名 | 所属・職名 | プロジェクト/ 研究課題におけるテーマ・役割 | 備考 (職位付与他) |
|-------------------|--------|---------------------------|---------------|
| ケイオウ タロウ 慶應 太郎 | ●●学部教授 | 研究代表者、研究活動統括 | 上席所員 |

| フリガナ氏名 | 所属・職名 | プロジェクト/ 研究課題におけるテーマ・役割 | 備考 (職位付与他) |
|--------------------|---------|---|---------------|
| ケイオウ イチロウ 慶應 一郎 | ●●学部准教授 | 専門分野(●●●●●)の視点から、 産学連携・成果の社会還元 の企画・実行 | 所員 |

説明：KGRI での身分
「所員」と「上席所員」がある。
教授および教授相当の場合「上席」

| フリガナ氏名 | 所属・職名 | プロジェクト/ 研究課題におけるテーマ・役割 | 備考 (職位付与他) |
|-------------------|--------|---------------------------|---------------|
| ケイオウ ジロウ 慶應 二郎 | ●●大学理事 | ●●●●の研究推進および産学連携 | 上席客員所員 |

| フリガナ氏名 | 所属・職名 | プロジェクト/ 研究課題におけるテーマ・役割 | 備考 (職位付与他) |
|-------------------|-------------|---------------------------|---------------|
| ケイオウ ハナコ 慶應 花子 | 〇〇〇〇株式会社研究員 | 「●●●●の研究」の推進 | 客員所員 |

慶應義塾所属以外：客員
教授および教授相当の場合「上席」
*人事審査有り・所員受入申請書作成・履歴書・業績が必要)

| フリガナ氏名 | 所属・職名 | プロジェクト/ 研究課題におけるテーマ・役割 | 備考 (職位付与他) |
|--------------------|-----------------------|---------------------------|---------------|
| ケイオウ サブロウ 慶應 三郎 | △△△△株式会社 ●●部 部長 | 「●●●●の研究」の推進 | |

空欄：
研究プロジェクトメンバー
*人事審査無し・書類不要